



貝塚高校創立80周年に

PTA会長

久岡 てるみ

貝塚高校創立80周年、誠におめでとうございます。この佳節に立ち会わせていただけますこと、また、貝塚高校の80年という歴史にふれる機会をいただけましたこと、心から感謝申し上げます。

昭和16年4月、貝塚実業学校として地域の産業に貢献できる人材の育成を担うべく、貝塚高校は開校されました。戦中戦後の混乱の時も、その後の豊かな時代がきても、貝塚高校は幾多の変遷を遂げ、地域に望まれる教育の場として前進を続けてきました。開校当初からの強い熱意が原点となり、それは脈々と受け継がれ育まれ、現在の総合学科へと花を咲かせました。先人の方々への感謝と敬意の念に堪えません。

私は、貝塚高校で現在3年生と一昨年度に卒業した2人の娘がお世話になり、PTA活動に参加して早いもので5年目になります。先輩役員の皆さんがそうであったように、今までご一緒にきた役員の皆さんとも明るく前向きに活動に取

り組み、貴重な体験をさせていただきました。

貝塚高校は、先生方に温かく見守られながら、生徒達がのびのび青春を謳歌し、それぞれが自分らしく生きていくための学びが用意されています。

しかし、コロナ禍にあって様々な事が停滞し、当たり前だった毎日がどれだけ輝いていたかを知ることとなります。つらく大変な毎日ですが、変化することで前進を続けてきた貝塚高校です。きっと乗り越えて、更に前進していけると思うのです。今の私達に負けない心が未来の貝塚高校につながると思うのです。先人の方々がそうして下さったように。

最後に、創立80周年記念事業にご尽力とご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。

これからも貝塚高校が地域と共に歩み、発展されますことを心からお祈りしています。



大阪府立貝塚高等学校 創立80周年記念に寄せて

大阪府立貝塚高等学校同窓会
相談役

道口 源一

我が母校。大阪府立貝塚高等学校が本年創立80周年を迎えたことは、誠に喜ばしく心からご祝辞申し上げます。

私は昭和37年に入学し、おおらかな校風の中で、のびのびとした高校生活を送っていましたが、家業の農業が忙しく、1・2年生時は、ほとんど勉強した記憶がありません。3年生時、ちょうど東京オリンピックが開催されましたが、オリンピックから受けた衝撃があまりにも大きく、その年の夏から急遽、大学進学を目指し勉強に取り組みました。結果、幸いにも関東地方の公立大学に合格することができ、卒業後は貝塚市内の中学校の教員となり、教科指導の外、生徒指導やクラブ指導などにも熱中していましたが、気が付けば40歳も過ぎ、教育委員会勤務を命じられ、10年後に中学校長を務めさせていただきました。

一方、私の卒業後の貝塚高校もさまざまな社会の変化や時代の要請の中で、厳しい状況に陥った時期がありましたが、総合学科制の高等学校に衣替えしたことを契機に、学校の雰囲気も大きく変わり、生

徒たちが笑顔と誇りを取り戻したように思います。

やがて、私は平成29年度から4年間、本校の同窓会長を務めさせていただくことになりましたが、ちょうど校舎の建て替え期間中であり、この際、更に魅力ある学校にするため、全ての教室にICT教育機器を整備したいという校長先生の強い願いを知り、同窓会役員理事会で諮ったところ、全会一致でご賛同を頂き、結果全ての教室にICT教育機器が設置されることになり、校長先生はじめ多くの先生方に喜んでいただいたことが、印象に残っています。

最後に、今、日本も世界も「新型コロナウイルス」という得体のしれない敵と果てしない戦いのさなかにあります。明けない夜はありません。日本が敗戦後の廢墟から立ち上がり、JAPAN AS NUMBER ONEと言われる奇跡を成し遂げたことに自信と誇りをもって、コロナ禍を乗り越える時であると思います。母校の更なる発展を願いつつ、私自身も微力ながら応援していく所存です。

80周年記念に寄せて



第21代校長

高橋 每彰

先輩から後輩へ絶えることのない櫛の繋ぎあいの中から、貝塚高校の今がつくられ、そしてこれからの未来が生まれていこうとしています。ここに、栄えある創立80周年をむかえられますことを、心よりお祝い申し上げます。

私は、平成24年度に校長として着任し、4年後、総合学科10期生とともに、貝塚高校を後にしました。この間の一番の思いでは、何といたっても計画から竣工までちょうど4年間で費やした校舎の耐震・建て替え工事です。特に、かつては隔週定時制でも使用されていた本館棟の建て替え工事は、府の厳しい財政事情にあって、「建て替え」というまたとない学習環境整備の好機となりました。建て替え予定地の前庭の発掘では、かつて焼失した旧校舎の基礎のほか、奈良時代の住居跡（柱や水路の跡）や土器（土師器、須恵器）が多数出土し、今につながる歴史の重みを感じ取ることができました。また、工期が、東北の震災復興の時期と重なったこともあり、資材や人の確保が難しく、工事は後れ気味に推移しましたが、ようやく平成27年の春に竣工しました。本館棟は規模が約8割に縮小されたものの、多目的に利用できるメモリアルルームをはじめ、アコーディオンカーテンで仕切られたセミナー教室などを確保することができました。ただ、残された課題は、総合学科の多様な学びには欠かせないICT機器の整備と旧本館棟の取り壊し後の広くなった中庭の整備でした。これらにつきましては、平成27年度が創立75周年に当たることもあり、創立75周年本館棟建替記念事業として、同窓会・PTAから多額のご支援を賜り、整備することができました。当時の道口同窓会会長、鉄沢PTA会長をはじめ、関係者の皆様方に改めてお礼を申し上げます。

次に、平成28年度の高校入試より、各校が求める生徒像（アドミッションポリシー）を公表し、それをみて中学生が出願してくることになりました。貝塚高校

の教育をいかに端的に表現できるかを考え、当時、次の4点にまとめました。

- 1) 進路希望を語ることができ、その実現に向けて日々成長を続けることができる生徒
- 2) 貝塚高校を愛し、本校生としての自覚と誇りを持って、自分も仲間も大切にできる生徒
- 3) 学校行事や部活動、地域交流等に積極的に参加し、つながることの大切さを実感できる生徒
- 4) 一人ひとりの違いを認め、互いに協力し合い、高めあうことができる生徒

この4点は、当然、貝高生に求める生徒像でもあり、全校集会でも話をしてきました。貝塚高校を愛し続け、卒業後も、本校の卒業生であるという自信と誇りをもって社会を支える担い手として大いに活躍してくれることを願ってやみません。卒業式では、毎回、私は次のように呼びかけてきました。「みなさんが40代半ばを迎えた2040年に、本校は創立100周年を迎えます。その時には、世界のどの地にいても、このふるさとに戻ってきて、母校の100周年をともに祝ってください」と。

「SAIKO KAICO!」。90年、100年と、ますます発展する貝塚高校であることを祈念して、お祝いの言葉とします。

貝塚高校の思い出



第22代校長

中山 玲代

貝塚高校創立80周年、おめでとうございます。総合学科として、また自立支援コース設置校として特色ある教育実践を重ねてこられた貝高のキャリア教育と人権教育、そして多岐にわたる進路希望の実現は、まさに学校全体で取り組んでおられる教育活動の賜物です。これまでの生徒の皆さんの頑張りと先生方のご尽力に心より敬意を表します。

貝塚高校には平成23年より2年間教頭として、また平成28年より3年間校長としてお世話になりました。数々の思い出がありますが、その中で印象に残っている行事の一つは、平成28年度に大阪で開催された「農業クラブ全国大会」です。全国から集まる農業高校の生徒の皆さんの実践発表を通して、そのレベルの高さと、指導される先生方の熱い思いが伝わりました。その年に校長として着任した私は、それまで未知であった農業教育の層の厚さを実感し、大変貴重な経験をさせていただきました。

この他にも、地域の方を招いての「A-のう祭」、コスモシアターでの「貝高フェスタ」など、貝高ならではの行事もありました。海外の高校との交流においても、積極的にお客様をもてなし、大いに楽しんでいた生徒さんも印象的でした。季節の花や木々でいっぱいのビオトープを始め、学校の敷地内に緑や草花を見ると心が和みました。

生徒の皆さんは元気で明るく、校長の私にもよく話しかけてくれました。面接指導でうまくいかずに泣き出した人、校長室に実験用のシャーレを置きに来た人、実習で作ったケーキやパンを持ってきてくれた人もいました。そして、生徒のことを考え、粘り強く指導され、生徒の皆さんに負けないうらい元気で明るい先生方も懐かしく思い出されます。

5年間貝塚高校で勤務できたことは私にとって大変貴重な経験でした。そのことに感謝するとともに、生徒の皆さん、教職員の皆様の一層のご活躍と、貝塚高校のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

おめでとうございます。 また新たなステージへ



第23代校長

島原 賢司

卒業生の皆さま、在校生の皆さま、地域の皆さま、教職員の皆さま、長きにわたりお力添えをいただきました関係者の皆さま、おめでとうございます。

私は平成31年4月から令和2年3月までの1年間と短い期間ではございますが、貝塚高等学校で勤務させていただきました。

着任させていただいた当初から、朝に門で迎えると、明るく笑顔で挨拶を返してくれる生徒、また、学校での会議や地域での会合でも、私の名札をご覧になり、「貝高卒業です。」と多くの皆さんにお声をかけていただきました。在校生や卒業生の優しい気持ち、卒業生を多く地域をはじめ社会に送り出されていることで貝高への「愛着」は積み上げられ、今日には、大きな存在になっています。

学校生活においても生徒の皆さんには、日ごろの学校生活を大切にされ過ごされていることはもちろん、特に体育祭や文化祭等見事な「まとまり」を見せていただきました。卒業生の皆さまも地域に貢献される方々も数多くおられ、学校の運営に関しても同窓会としてまとまり、アドバイスをよくいただきました。`貝塚高校、の名の下に生徒の皆さんはどのようにすれば素晴らしい学校生活を送れるのか、卒業生の皆さまにおかれましては、どのように力を尽くせば学校が良くなるのかを考えていただいております。

学校を取り巻く状況や社会が常に変化していく時代、また今年のように緊急事態宣言の中の生活を送らなければならないなど、私たちにとって対応が多岐にわたっています。これからの将来、ますます人が協力し、支えあうことがより一層必要になります。

最後に関係される皆さまの「愛着」や「まとまり」をより一層いただき、貝塚高校がこのような時代に、ますます発展することを期待いたしております。

貝塚高等学校創立80周年、誠におめでとうございます。